

カリキュラム

コースコード：24-107

中小企業大学校 九州校

タイトル	実践で学ぶ！5Sと目で見える管理				
サブタイトル	実践で身につける！5S活動の進め方				
研修のねらい	生産現場において、すぐには必要とされない材料や工具、さらに仕掛品が数多くあると、作業を妨げ、ムダを生み、企業利益を圧迫する原因になります。本研修では、現場でのムリ・ムダ・ムラを発見し、整理・整頓・清掃・清潔・躰（5S）と見える化を実現する手順を学びます。また、インターバルを活用して自社で5S活動に取り組むことで、自社・自部門の現場改善と改善活動定着手法を身につけます。				
研修のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・5Sの視点で職場の問題点を把握する方法が学べます。 ・現場のムダの見つけ方と排除の仕方が学べます。 ・実際に自社・自部門の現状を持ち寄り、改善のポイントと方法を学べます。 				
日程	2024年5月30日（木）～31日（金） 6月17日（月）～18日（火）	日数	全4日 （2日+2日）	時間数	24 時間
対象者	管理者、新任管理者 ・5S活動の推進リーダーの方 ・5Sの基本を学びたい方 ・職場の整理・整頓をしたい管理部門の方	定員	24 名	受講料	36,000 円
		会場	中小企業大学校 九州校 （住所：福岡県福岡市博多区綱場町2-1 博多FDビジネスセンター3階）		

プログラム

月日	時間	科目	内容	講師
5/30 （木）	9:50 ～ 10:00	開講式	オリエンテーション	有限会社 コンサルティング ベル オフィス 代表取締役 鈴木 規男
	10:00 ～ 12:00	5Sの重要性和管理者の役割	生産現場でおきる問題とその要因を理解した上で、5Sに取り組む意味と活動を推進する管理者の役割を学びます。 ・生産現場でよくある問題と要因 ・5Sの目的 ・5S活動を推進するリーダーの役割	
	13:00 ～ 17:00	5Sの基本と5S活動の実施ステップ	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）のそれぞれの内容と実践方法を理解した上で、5S活動の進め方の手順とポイントを演習を交えて学びます。 ・5Sの実践ポイント ・5S活動推進のポイント ・定着する5S活動（ホンモノ）と定着しない5S活動（ニセモノ） ・定点観測法の効果と取り組み方	
5/31 （金）	10:00 ～ 12:00			
	13:00 ～ 17:00	目で見える管理の実践法	目で見える管理の考え方と進め方を事例を通して学んだ上で、自社での実践の仕方を検討します。 ・目で見える管理の考え方と改善事例 ・目で見える管理の効果と取り組み方 ・インターバル課題の進め方	

インターバル「職場での5S活動の実践」

前半での学びを活かして、5S活動の実践に取り組みます。

6/17 （月）	10:00 ～ 12:00	現場実践の振り返り	インターバルでの実践結果を振り返り、課題の整理を行います。 ・インターバルの振り返り（ディスカッション） ・改善ポイントの整理	前掲 鈴木 規男
	13:00 ～ 17:00	ムリ・ムダ・ムラの発見と改善	ムリ・ムダ・ムラの定義と発見の仕方とその対策の立て方を、ケース演習を交えて学びます。 ・ムリ・ムダ・ムラの意味と原因 ・三現主義の重要性 ・ムリ・ムダ・ムラの着眼点と対策	
6/18 （火）	10:00 ～ 12:00			
	13:00 ～ 17:00	5S活動定着の検討	研修のまとめとして、自社で5S活動を実践・継続していく上での課題を整理し、今後の対策を検討します。 ・目で見える管理、5S活動、3ムカイゼンの関係 ・継続する5S活動の取り組み方 ・自社での5S活動定着の対策	
	17:00 ～ 17:10	終講式		

講師紹介

氏名	略歴
鈴木 規男 （すずき のりお） 有限会社コンサルティング ベル オフィス 代表取締役	慶応義塾大学工学部管理工学科卒業。ヤマハ発動機（株）を経て、1994年経営コンサルタントとして独立し、コンサルティング・ベル・オフィス設立。専門分野は5S、IE、生産管理等。国内、海外においてコンサルティング活動を行う他、中小企業大学校各校や、海外技術者研修協会等の研修の講師としても活躍し、理解しやすく楽しい講義には定評がある。

備考

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。